

学術研究を取り巻く以下の背景により、共同利用・共同研究拠点等の機能強化が求められていることを踏まえ、共同利用・共同研究拠点等に関する作業部会において基本的な方向性を整理。今後、本方向性に沿って具体的な対応を検討する。

## 背景

### <拠点の重要性>

- 研究者コミュニティを基盤としている、大学共同利用機関と共同利用・共同研究拠点は、個々の大学では整備・運営が困難な最先端の大型装置や大量の学術データ、貴重な資料等を全国の研究者コミュニティに対して提供することを通じ、大学の枠を超えた共同研究を促進する、我が国独自のシステムとして、研究力強化に不可欠なものであるため、ハブとしての機能強化を図る。（「科学の再興に向けて 提言」（令和7年11月「科学の再興」に関する有識者会議）より）

### <改革の必要性>

- 第5期中期目標期間に向けて、一定の規模を確保する観点からの教育・研究組織の大括り化や統廃合、他法人との連携や、附置研究所等については既存の附置研究所等の新陳代謝や再編等、研究力の強化に向けて必要な見直しを図る仕組みの導入の検討等といった観点で組織の見直しを求めていくこととする。（「国立大学法人等改革基本方針」（令和7年11月文部科学省）より）
- 研究力の強化に向けて、大学共同利用機関や共同利用・共同研究拠点において、それぞれが目指す機能強化の方向性に基づき、組織間ネットワークの強化や、組織・分野を超えた連携・人材流動のハブ機関としての機能強化による研究の幅や裾野の拡大を図っていくことが求められる。（「国立大学法人等改革基本方針」（令和7年11月文部科学省）より）

## 役割

- 共同利用・共同研究システムの中核として、個々の大学では整備・運営が困難な最先端の設備やデータ、貴重な資料、これらの活用方法や先鋭化に関する知見等を国内外の研究者に提供する（共同利用）ことを通じ、大学の枠を超えた共同研究を効率的・効果的に推進すること。
- 多様な分野・領域を主たる対象とし、各分野・領域における地域の特色や歴史的 특성等特色ある研究を発展させ、当該地域の、又は分野によっては全国規模の、共同利用・共同研究のハブとして、共同利用・共同研究システムがカバーする研究分野の裾野拡大に貢献すること。

## 機能

### 1. 共同利用・共同研究の機能

大型研究装置の共同開発、貴重な資料などの共同利用・共同研究、各大学で共通する学術基盤の整備、当該研究分野を先導する広い視野を持った人材の育成 等

### 2. 各研究分野における中核的な研究施設としての機能

- ✓ 国内外の研究者コミュニティの頭脳循環ハブとして、卓越した研究の中核としての機能を有するなど、「研究面での中核性」
- ✓ 研究者コミュニティを繋ぎ、研究者が集まる研究ネットワークとしての機能を有するなど、「研究ネットワークとしての中核性」

わが国の研究力強化のためには、これら拠点の機能を強化していくことが重要

## 認定制度の見直しと予算支援の在り方の方向性

### 1. 成果や体制等に応じた支援

拠点の機能強化のためには、取組の実績を評価し、成果や体制等に応じた支援を行っていくことが重要。「共同利用・共同研究の機能」や「各研究分野における中核的な研究施設としての機能」を中心に評価の観点の見直しと認定基準を明確化し、成果や体制等に応じて行う評価の結果として①基礎的な基準を満たす拠点、②より高い実績を挙げている拠点、③国際共同利用・共同研究拠点の3つのカテゴリーに分類し、予算支援の内容を考えていく。

（ポイント）

✓ **3つのカテゴリー**の分類 ※これまでは2つのカテゴリー

- ① 基礎的な基準を満たす拠点
- ② 基礎的な基準を満たした上で、国際的な水準あるいは地域・文化固有の価値から見て、より高い実績を挙げている拠点
- ③ 国際共同利用・共同研究拠点として認定を受けている拠点

✓ 「**評価の観点**」の見直しと「**認定基準**」の明確化。

### 2. ネットワークの強化

✓ 共同利用・共同研究拠点等の機能強化に向けては、拠点のネットワーク化（ネットワーク型拠点の形成）を促していくことが重要。

✓ 広範かつ複雑な研究課題に対して、研究資源を最大限に活用することが可能となり、研究効率の飛躍的な向上にもつながるなど、研究者コミュニティの活性化や研究基盤の底上げが期待できる。

### 3. 新陳代謝の促進

拠点の機能を担うことができる基準の明確化やネットワーク化の促進による一定の数の見直しを行い、拠点を3つのカテゴリーに分類することにより、予算支援の配分に傾斜をつけ、共同利用・共同研究拠点等の新陳代謝を促進。

 認定制度の見直しの方向性を踏まえて、[予算支援の在り方を検討](#)

## 各大学へ求めること

- 各大学においては、研究力の強化に向け、今後、大学として拠点等の役割をどのように考えて取り組んでいくか、積極的に議論を進めることを期待